

窒素同化作用の活性・促進化

3年後に開催される東京オリンピック。公認の農産物はより一層の安心・安全で健全性を問われている今、バイオ技術日本のプライド

有機JAS・環境保全が求める課題

農作物の安心・安全・健全性は、硝酸・亜硝酸態窒素過剰吸収の解決
それは食する身体の酸素欠乏に通じ、活性酸素発生は
病気の90%の要因とされる。

今、上記の原因の解決は、土壌微生物の硝酸化成菌、亜硝酸生成菌の増殖を阻止する事にあり、バイオ技術によって解決可能になりました。その開発経緯と具体的なメカニズムをここに御報告致します。

農業関係者の方々は、講習会において有機JAS及び環境保全の目的は、農産物の活性酸素の除去と食生活の改善への取り組みであると説明されています。農産物に含まれる過剰な硝酸・亜硝酸態窒素肥料が活性酸素の要因となり、病気の90%の原因とされています。そこで農産物を有機JAS、環境保全栽培へ移行し、活性酸素の発生を減らす取り組みは消費者から大きな評価を受けることは確かです。しかし、その手段方法は活性酸素の源である土壌微生物の硝酸化成菌、亜硝酸生成菌の増殖を阻止することで解決が可能となります。

弊社が国際特許を取得したBS（バチルス・サブチルス）タケミ菌&Zゴールド水素化物イオン（別名：マイナス水素イオン）で硝酸化成菌、亜硝酸生成菌の増殖を阻止します。これらの成分の多い農産物を食すると、ヘモグロビンに吸収された酸素が奪われ、強力な発がん性物質ニトロソアミンの発生に通じます。BSタケミ菌1個が1日で6兆個にも増殖し、その代謝成分は高品質な有機質肥料を生産する地下工場のようにさせます。とくに細胞にはカニやエビが持っているキチン・キトサンを含有し、耐病性を強化します。

BSタケミ菌のエサとする尿素の肥効（酸化）終了は通常35日ですが、発酵ガスを発生させず、酸化させないバイオの先端技術Zゴールド水素化物イオンの還元作用により、BSタケミ菌のエサとして150日間持続されます。通常の肥料では水素原子は陽子1個と電子1個を持っていますが当社で開発した水素原子は陽子1個と電子2個持つことで酸化をコントロールし、窒素同化作用といわれる（BSタケミ菌の代謝産物として核酸関連物質、アミノ酸、ビタミン、ホルモン、キチン、キトサン、酵素、補酵素、有機酸、多元素低分子ミネラルなど）を直接植物の根から吸収し、曇りの日や雨の日、昼夜を問わず生長を続けます。

以上、当社の先端技術であるBSタケミ菌&Zゴールド水素化物イオンによって硝酸化成菌・亜硝酸生成菌の増殖を阻止し植物の生長を活性・促進化させます。農産物の評価は鮮度保持&活性酸素の除去にあり、その分析値が農産物の安心・安全の基準となるべきであると考えます。

皆様の温かいご支援が必要であり、日本の農業の発展の為に皆様のご理解を切に求めます。宜しくお願い致します。

物質を構成する水素原子は陽子1個と電子1個で成り立っています。電子が飛んで離れることが酸化です。しかし、Zゴールドには2個の電子があり、1個が酸化に使用されますが予備の1個で酸化をコントロールし、止めます。

ゴールド興産株式会社

代表取締役 青沼武三

宮城県大崎市古川旭5丁目3番26号
TEL 0229(22)1546 FAX 0229(24)2428
<http://www.goldkousan.co.jp>